

認定試験実施機関 各位

公益財団法人日本ボールルームダンス連盟
資格審議委員会

新型コロナウイルス感染症に伴う認定試験の対応について

JBDF 認定試験におきましては、予定どおり実施することを前提としておりますが、今後、国内で新型コロナウイルスの感染が拡大し、国や自治体から施行中止要請等がなされた場合には、認定試験の中止、または、状況に鑑み、試験実施機関の縮小等を行う可能性があります。このような事態が発生した場合には、直ちに当連盟ホームページ等に掲載いたしますので、適宜ご確認いただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大を防止する際に必要となる個人情報、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されます。講習および試験当日の各担当者は、下記の内容をご一読ください。如何なる事態においても瞬時に皆が協力し、適切な対応が出来るよう心しておいてくださいますようお願い申し上げます。

<受験生への周知>

以下に該当する場合は受験を控えるよう指導する

- ・ 当日朝、会場にて検温を行い、発熱や体調不良があった場合(目安37度以上)
- ・ 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合
- ・ 過去2週間以内に感染が発生している国・地域への訪問歴がある場合
- ・ 同居者に新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合

<集合講習、認定試験実施時の対応>

- ・ 施設側の感染防止対策を厳守する
- ・ 会場に消毒液を設置する。(施設側が設けているか確認し、設けていない場合は、予め用意する)
- ・ 清掃、消毒、換気を徹底的に実施する。特に高頻度接触部位(机、椅子の背もたれ、ドアノブ、手すりなど)に留意する
- ・ 清掃や消毒を行う者は、マスクや手袋の着用を徹底する
- ・ 清掃や消毒を終えた後は、必ず石鹸と流水で手洗いを行う
- ・ 密閉させない(各教室の出入口や窓などを可能な限り解放し、常時換気を行う)
- ・ 密集させない(間隔をあけて座らせるなど、大勢の人数が滞留しないよう、以下の措置を講じる)
受付時や教室の入場時や退場時等に行列が生じる場合は、最低 1mを目安に可能な限りの間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないよう工夫を行う。トイレなどに待機列ができた場合も、最低 1mを目安に可能な限りの間隔を空けた整列を促す
- ・ 密接させない(可能な限り、私語を慎むよう告知する)
- ・ マスクの着用を義務付け、必要に応じてフェイスシールドの着用を許可する
- ・ 試験問題、マークシートの配布・回収時には、必要に応じて使い捨て手袋を着用する
- ・ 個人のゴミは持ち帰る

<感染が疑われる者が発生した場合>

感染が疑われる者が発生した場合、以下の通り対応する

- ・ 感染が疑われる者に速やかに帰宅を促す
- ・ 感染が発生した可能性のある部屋の換気を行う
- ・ 保健所へ連絡し、消毒や濃厚接触者調査の指示を受ける
- ・ 感染が疑われる者と接触した人の氏名および緊急連絡先を把握し、名簿を作成する
- ・ 集合講習、認定試験の終了後に、感染が疑われる者が発生した場合、保健所等の公的機関に協力し、必要な情報提供を行う